

平成18年2月14日(火)開催  
日本橋川に空を取り戻す会  
(日本橋みち会議)配布資料

日本橋川に空を取り戻す会(日本橋みち会議)

日本橋川に空を取り戻すとともに、潤いと品格あふれる首都東京の再生に向けた検討を進めるに当たり、有識者の方々の御助言を賜るため、標記会議を設立する。

(委員) 伊藤 滋 早稲田大学 特命教授

奥田 碩 (財)日本経済団体連合会 会長

中村 英夫 武蔵工業大学 学長

三浦 朱門 日本芸術院 院長 (五十音順、敬称略)

平成18年夏までに基本方針を取りまとめることとし、2~3回開催予定

## (1). 日本橋地域におけるこれまでの取り組み

2001年3月14日 国土交通省 扇千景大臣(当時)より  
『日本橋は首都・東京の顔であり、国として取組むべき課題である』  
『首都高の高架に覆われた日本橋の景観を一新する』



2001年4月 学識経験者による  
『東京都心における首都高速道路のあり方委員会』設立  
○首都高の改築・更新の将来計画などを検討



2003年8月 『日本橋みちと景観を考える懇談会』設立  
○水辺空間や都市景観に考慮したまちづくりの検討  
○首都高速道路の再構築に関する検討  
○地域再生に向けた機運向上のための広報活動

### まちづくりアイデアコンペの実施(2004年度)

全国各地の幅広いジャンルの所属者から324点もの様々な応募が寄せられ、さまざまな切り口から実践的なアイデアが提案された。

- 首都高速道路の浅い地下空間への移設(上位5作品中4作品)
- 容積移転等による日本橋川沿いの緑地・オープンスペースの創出
- 日本橋川を向いたまちづくりの推進 等

## (2). 今後の検討の方向性

小泉総理(2005年12月26日)

『日本橋を世界で最も魅力的な場所にしてほしい。夢を持って日本橋の上を空に向かって広げてみよう。  
数年でできる問題じゃないが、早くスタートした方がいい』

### 第7回 日本橋 みちと景観を考える懇談会(2005年12月26日)での主な意見

- ◆本プロジェクトは、首都高の移設と同時に、まち・河川全体を魅力的なものにするといった画期的なプロジェクト
- ◆容積移転、または再開発的な手法による日本橋川を向いたまちづくり手法の検討の実施
- ◆道路の施工手順、整備時期などを含めたフィージビリティと費用負担の視点を意識しながら要検討
- ◆今後、国民的コンセンサスを得るために、日本の経済社会にとっての重要性、国際的にみてどれだけの意味を持つのかといった切り口からも要議論 等

実現に向けて

### 今後の検討の方向性

#### ●まちづくりに関する検討

- ◆日本橋周辺地区における、歴史的・文化的資源を活用したまちづくりの方向性を検討
- ◆実現に向けた道筋と手法(事業、規制誘導方策その他の手法)の検討 等

#### ●都心部のネットワークの検討

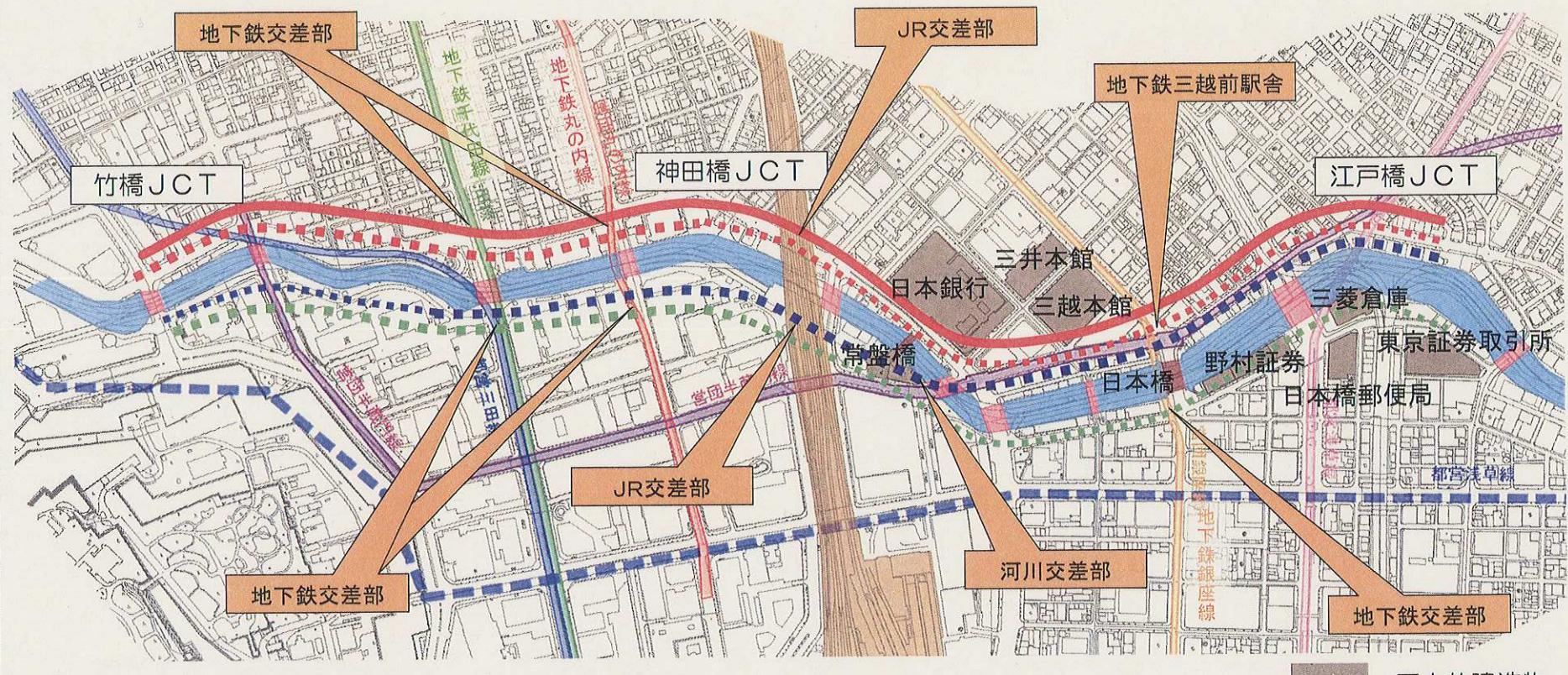
- ◆日本橋の再構築の可能性(交通シミュレーション、地下案・高架案とまちづくりの関係) 等

#### ●地域・広報活動

- ◆国民、及び地域住民の合意形成のための広報活動 等

### (3). 日本橋再構築の可能性検討(平面図)

#### 導入空間候補(4案)

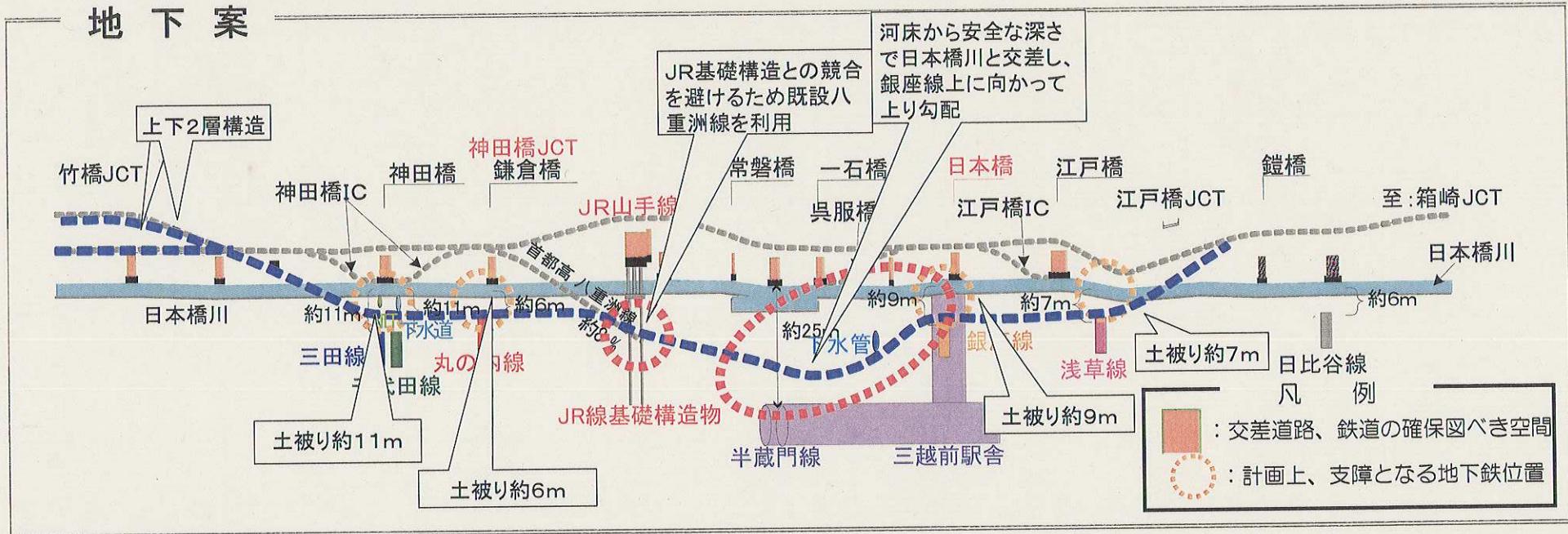


#### 凡 例

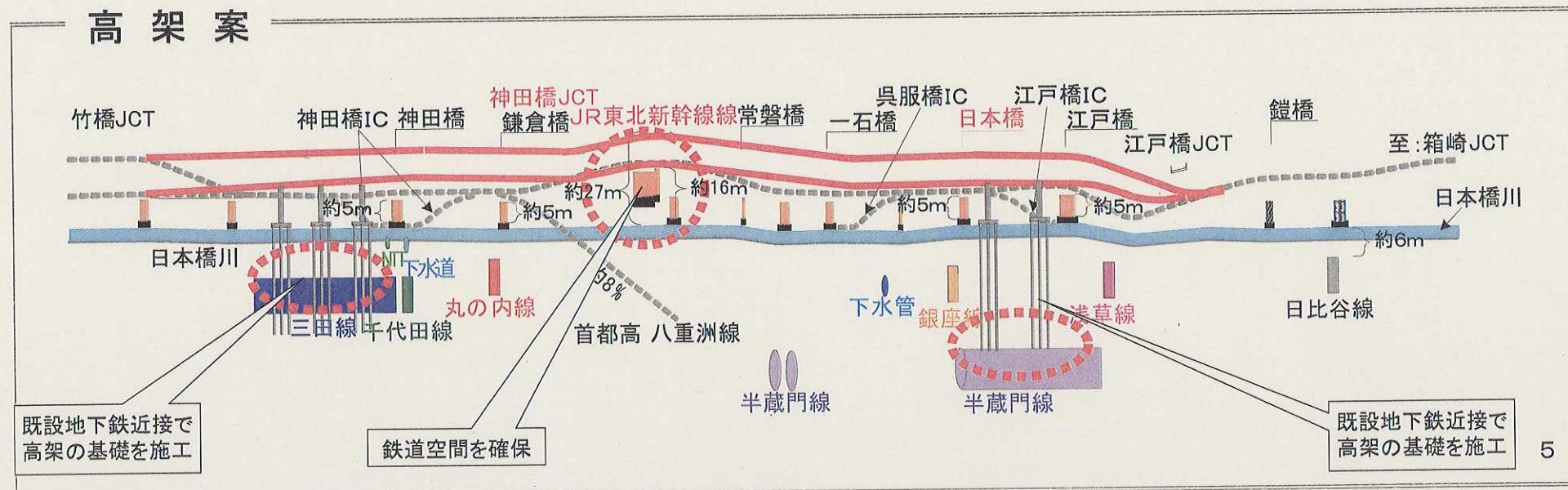
- ① 北側高架案 : 区間1、2とも北側を高架構造で通過する案
- ② 地下案1 : 区間1、2とも北側を浅い地下構造で通過する案
- ③ 地下案2 : 区間1は南側を、区間2は北側をそれぞれ浅い地下案で通過する案
- ④ 地下案3 : 区間1、2とも南側を浅い地下構造で通過する案

## (4). 日本橋再構築の可能性検討(縦断図)

### 地下案



### 高架案



# 日本橋に関する地域での検討・活動等

## 1. 日本橋を守り育てていくための取り組み

### 【名橋「日本橋」保存会】

名橋「日本橋」を永く将来にとどめることによって、地域社会の発展を図ることを主な目的として昭和43年に設立。

会長：井上和雄（三越）



### ◆日本橋橋洗い

日本橋橋洗いは、昭和43年（1968年）より、日本の道路の原点である日本橋を慈しみ、大切に美しく保存していくため、1年に1度、橋の汚れを落とす目的で始められた。

昨年までに35回の開催（7月下旬の日曜）。



＜橋洗いの様子＞

### ◆全国こども橋サミット

「全国こども橋サミット」は、小学生に橋そのものの文化的意義や歴史だけでなく、地域の環境問題などを考えてもらうことを目的にこれまで4回開催。

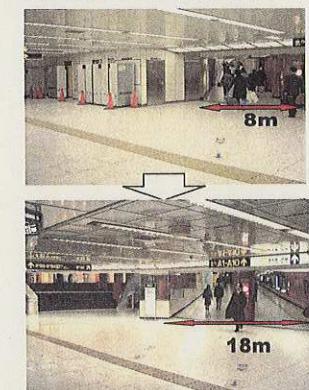


＜こども橋サミットの様子＞

## 2. 日本橋地区の再開発に伴う取り組み

### 【日本橋地区地下歩道拡幅（日本橋都市再生事業）】

沿道民間建築物の建て替えとあわせ、沿道建物と地下通路を一体的に整備。回遊性の高い良好な歩行者空間ネットワークの創出し、地域活性化を図る。



## 3. 将来に向けた検討

### 【日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会】

日本橋地域の再活性化と日本橋川再生のビジョンを提言し、20世紀のまちづくり策を発信していくことを目的として設立。

会長：山本恵造（山本海苔） 事務局：日本橋プラザ

相談役：矢田美英（中央区長）、立石晴康（都議会議員）

### 【まちづくり検討委員会】

国際都市東京の顔づくりとして、東京駅前地区の再生、日本橋川を中心とした都市環境の創出をねらいとして2005年10月に設立。

座長：伊藤滋（早大教授） 事務局：中央区

### 【日本橋・東京駅前地区 地域懇談会ワーキング】

地域との意見交換をおこなうことで、当地域のまちづくりについて地元としての考えを明らかにしていくことを目的に設立。

メンバー：地元町会長、まちづくり4団体代表、行政等 事務局：中央区

### 【日本橋学生工房】

学生がまちづくりに携わることによるまちづくりの促進、学生の実地体験のフィールドとして2001年に設置。

小学校からのまちづくり、日本橋川の浄化、日本橋室町地区区道舗装等、地域住民とともに日本橋地域のまちづくりに参画。今期で第四期目。

メンバー：東京近郊の大学生 アドバイザー代表：森地茂（政策研究大学院大学教授）